

浜松市	ながかみちくしゃかいふくしきょうぎかい 長上地区社会福祉協議会
-----	---

長上地区社会福祉協議会は、平成14年に設立され、子育て支援事業や相談事業、防災啓蒙活動など、地域福祉の推進に尽力しながら、平成29年度から地域の小学生を対象に、夏休みの課題を地域の保護者や中学生に支援してもらいながら取り組むことができる、「夏の長上寺子屋」を継続的に開催してきた。

地域の保護者にとって、夏休みの恒例行事として認知されており、勉強を学ぶだけでなく、毎年企画する様々な体験活動を通して、貴重な世代間交流の場にもなり、コミュニティ強化にも繋がっている。

(1) 事業の目的及び活動の方向性	<p>「夏の長上寺子屋」は長期休業中の子供たちの居場所作りを目的として、学習支援だけではなく、様々な体験活動を通して、日本の風習に親しんだり、地域の様々な年代との交流ができたり、仲間づくりができたりする場となっている。保護者からの需要も高く、小学校や地域団体とのネットワークをさらに充実させて、地域の子供たちの「居場所」として活動していく方針である。</p>
(2) 活動体制等 (連携する団体、子供・地域住民等の参加状況、活動年数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・連携する団体・・・与進中学校、シニアクラブ、長上協働センター、与進北小学校・与進小学校読み聞かせの会、地域包括支援センター ・参加状況・・・平成29年度から開催し、小学生は256名、中学生ボランティアは37名が参加し、事業にかかわった大人は約60名である。 ・平成29年度から開催し、今年で5年目の実施となる。 <p>地域の小学生が集まり、夏休みの宿題等に取り組む中で、わからない問題があれば、地域の大人や中学生ボランティアと一緒に考えながら進めていく。また、勉強をする時間だけでなく、様々な活動を体験できる場ともなっている。</p>
(3) 活動内容及び成果	<p>勉強を学ぶ場としてだけでなく、本の読み聞かせ、料理体験、英語体験、流しそうめん、小学生対象の認知症サポーター養成講座など、様々な体験活動を取り入れ、小学生から高齢者まで地域の世代間交流ができる場となっており、保護者からも開催を要望する声が多数寄せられている。</p> <p>中学校にも事業協力を依頼し、中学生がボランティアとして活躍している。地域の小学生が各自持ち寄る課題を一緒に考えながら、勉強を教える寺子屋の講師役となるボランティアは、中学生にとって気軽に参加しやすく、ボランティア活動の貴重な体験の場となっている。</p>